

子どもの頃、  
川は恰好の遊び場でした。

楽しい荒川を、  
いつまでも。

林家たい平



# みんなの力で荒川を もっと楽しく快適に!



## 荒川はさまざまに利用されているんだね!

### 河川敷のクリーンアップ大作戦 ボランティア活動に参加して!

ごみの不法投棄は犯罪だ。荒川は河川敷が広く、不法投棄は深刻な大問題だ。流域の自治体などを主体にした5つの協議会がボランティアでクリーン活動に取り組んでいる。昨年度は延べ1443人が参加して、約23.5トンもの不法投棄物を撤去した。活動は例年11月、一般の方も参加できる会場もあるので、ぜひご協力ください。



捨てられているのは生活ごみや産廃物、家電製品など。活動の参加方法は事務所のホームページで

### 荒川の上流、秩父生まれのたい平で〜す!

子どもの頃は川でよく遊んだものです。思えば、荒川は今もさまざまに利用されていて、魅力は川幅日本一の広い河川敷です。

その約6割は民地で、大半が農耕地なんですって。ほかにもゴルフ場や公園、運動場などに利用され、スポーツやレクリエーション、自然観察や散歩などを楽しむ人たちが賑わっています。

子ども時代に親しんだ荒川を、もっと楽しく、安全に、これからも利用したい。たくさんの方がさまざまに利用するからこそ、みなさんの「気づかい」が大切です。さあ、秋本番。子どもや高齢者、そして動植物を思いやる心を持って出かけましょう。

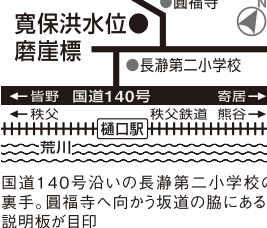


利用者や地域のみなさんの協力が必要です(道満グリーンパーク)

### コラム 近代改修を見に行こう

2017年は、  
カスリーン台風から70年

地元の有志が刻んだ「水」がうすうすと読み取れる



荒川の上流、観光地で知られる長瀬町に「水」の文字を刻んだ岩壁があります。説明板には1742(寛保2年、旧暦7月に発生した大洪水による)この付近1帯は、ここごとく水底に没したと記されています。その水位は、大人が国道140号に立って手を伸ばしたはるか上方。荒ぶる川が襲いかかるすさまじさが伝わってくるようです。

### 寛保の大洪水 「磨崖標」(長瀬町)

### 堤防の刈草をリサイクル 荒川生まれの堆肥が大人気



この季節(7~10月)は「切返し」の時期。空気の流れを良くして発酵を均一にする。完成は1月頃

堤防の定期的な除草は、堤防の状態把握のために欠かせない。大量に発生する刈草は、環境負荷の軽減や有効利用を目的に堆肥化されているんだって。緑のリサイクルだね。

堆肥は「荒川緑肥(りよくひ)」と名づけられ、毎年希望者(応募が必要)へ無償提供されている。

昨年度は約千人へ配布され、「よく野菜ができます。他の肥料はいりませんね」などと利用者から声が届くほど好評だ。

### 「荒川緑肥」の募集が始まります

堤防の刈草を堆肥にリサイクルした「荒川緑肥(りよくひ)」を無償で配布します。ご希望の方は、必ず「往復はがき」でお申し込みください。詳しい応募方法はウェブで確認を!



詳しくはコチラ

